

【お正月】

一、門松は栄える象徴です



お正月に門松をたてるのはなぜだか知っていますか。これはいつまでも葉を落とさないで、永遠に栄えるという意味で、昔はこれを「栄える木」すなわち「さかき」といったそうです。昔の人は「さかき」をたてて、「今まではどのような事はあるとも、これから先は栄えるばかりだ」と言って祝ったのです。皆さんも、「去年中、どんな失敗や、病気や、悪いことがあっても、今年からは、栄えるばかりだ」と言って、喜んで一年を出発して下さい。「今年からは、きっと良い事が来ますよ」と大声で喜べば、喜びがやって来ます。松竹梅のもっている日本の心は語り継ぎたいものです。しめ縄飾り・鏡餅・雑煮・おせち料理などの文化も子ども達に伝えたいものですね。

二、正月を機会に太陽のような明るい心を

次にしめ縄の意味は？あれは古代、太陽の神様(天照大御神)が天之岩戸におかくれになったときに、天之宇受女命という神様が愉快にダンスをされたのです。あまりに愉快にダンスするので、多勢の神様も愉快に笑われました。あまり多勢が愉快に笑われますので、太陽の神様も、うれしくなつて天之岩戸にかくれていることができなくなつて、岩の戸を細目に開いておのぞきになりますと、手力男命という手の力の強い神様が、太陽の神様

の手をギュッと握つて天之岩戸から引き出されますと、太陽があらわれて世界が一遍に明るくなりました。それで太陽の神様に、もう二度と天之岩戸の中へかくれてしまわれぬようにお願いして、岩戸の入口に尻くめ縄というのを張りわたして、太陽の神が岩戸へ入れないようにしたのです。その尻くめ縄が、今ではしめ縄になつています。正月に嬉しい太陽のような明るい気持ちになつたら、それからは二度と、その太陽のような明るい気持ちで岩戸の中へ入れないように、しめ縄を張つて心に誓うためののです。

三、お餅を食べるわけ



お正月には鏡餅といつてまんまるいお餅を床の間に飾るのです。それは今年からは、きつと鏡餅のようなまんまるい心になつて、心に角を立てまいという決心をあらわしています。なぜお餅を食べるかといいますと、餅は、一つ一つのお米が別々になつていないで、自分という「一つ」ずつの形がなくなり、全体が一つにとけあつて仲良く一つになつていくからであります。お餅を食べる時には、お餅のようにみんな仲良く一つになろうと決心して食べましょう。

四、色々叩かれると人間のねばりが強くなります

餅があんなにねばりが強いのは、杵で大いに叩かれたからであります。色々と言われたり、つらい目をさせられたり、つらい勉強をさせられたりすることによって、人間はねばりが強くなるのです。だから、色々言ってくれたり、つい仕事をさせてくださる人は、かえつて自分のためにな

る人なので感謝しなければなりません。

五、天地四方のすべての物を拝みましょう

正月元旦はむかしから四方拝の日とせられていまして、天地四方のすべての物が、空気も、水も、日光も、すべての鉱物も、植物も、動物もみんな神様のお恵みのあらわれであると知り、天地四方のすべての物に感謝して拝む事になつていたので、朝早く起きると、初水でお顔を洗つて外へ出て、手を合わして「天地四方すべての物は、皆神様のお恵みです。有難うございます。今年も神様よくお護りください」とお祈りしましょう。

【節分】二月三日【立春】二月四日

除夜に行う悪鬼を払う追儺の法会は、後の世になると、年が明けた節分の夜の行事となつて現在のように定着しました。節分というのは立春の前日ですが、ある地方では、現在でも立春を元旦として「神の正月」と呼び、節分の夜を「歳の夜」と呼んでいます。

「福は内、鬼は外」と豆をまき、鬼を払う行事とされていますが、鬼とは災難厄疫の象徴で、季節の変わり目に起こりがちな災害や厄病を鬼に見たてて追う儀式が豆まきであります。

節分の次の日は、立春正月を祝う日です。

【建国記念の日】二月十一日



『日本書紀』にある神武天皇の橿原での即位の日が根拠となつている日本の国の誕生日です。昔は『紀元節』と言いました。神武建国以来今年が皇紀二六七七年で、今上天皇は百二十五代です。

和歌コーナー

サンタさん わすれないでね

プレゼント てがみをみてね ことしのねがい

年中 H・H



☆サンタさんにどんなプレゼントをもらったのかな。おてがみには、どんなおねがいをかいたの？

かきのはは いろんないろがあつたよ

さんたさんがもうすぐくるよ たのしみだなあ

年中 K・S



☆サンタさんがくるさむい冬。柿のはっぱは、きれいに色づいていて、ふしぎですね。

クリスマス もうすぐくるよ プレゼント

サンタさんを見てみたい

小学二年 H・A



☆サンタさんはどんなやさしいかおをしている方かしらね。クリスマスがたのしみですね。

あまてらす にわたりの声で でてきたよ

おまつりして でてきたのかな

クリスマス ツリーをかざって

おいわいだ みんなをよんで 楽しんするぞ

小学二年 J・R



☆長鳴き鶏の鳴き声をまねしましたね。みんな、上手でしたね。

ねんがじょう スタンプおした たのしかった

またおしたいな ぼくは うしどし

小学三年 Y・Y



☆にわたりのスタンプをおして、年賀状作りをしましたね。上手に作っていましたね。

浅葱色 好きな歴史で 習ったよ

新選組の 隊服の色

胡粉と朱 本で見たことある色だ

体技用の 巫女装束の色

小学六年 T・T



☆朋美ちゃんは、いろんな色の和名を知っていて、博学なので、みんなびつくりしました。



プレラホール入り口 エレベーターで4階へ



ここ

今月の論語

曾子、曰く

「君子は文を以って、友を会し、

友を以って仁を輔く。」

(現代語訳)

曾子が言った。「君子は(詩書礼学などの古典

の)学習のために友人を集め、その友人のおか

げで、仁の徳を磨くことができたのだ。」

(解説)

いろいろなことを真剣に学ぶお友達がたくさん

さんできたらいいですね。みんなで一生懸命

に学んでいくうちに、みんなの思いやりの

心も育っていくのです。よい仲間と一緒に

君子を目指せたら、こんな嬉しいことはありませんね。

「こども論語塾」(ポプラ社)より

次回は 二月二十五日(土)です。

お知らせ

ピグマリオン学舎が保育園になります。その  
工事の為、寺子屋の会場が、変更になります。

**西宮市立中央公民館 402室**

西宮市高松町400プレラにしのみや内)

※中央公民館・プレラホールの入り口の

エレベーターで四階へ上がって下さいね。

三月二十五日は、601室です。(文責・藤波)